肝臓疾患用剤・アレルギー用薬

日本標準商品分類番号 873919,87449

キョウミノチン 静注 PL

KYOMINOTIN® Inj. PL

グリチルリチン酸ーアンモニウム・グリシン・L-システイン配合注射剤

貯 法:室温保存

使用期限:外箱、アンプルに表示 規制区分:処方箋医薬品^{注)}

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

承認番号	22600AMX01247000
薬価収載	2014年12月
販売開始	2015年3月

【禁 忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2)アルドステロン症の患者、ミオパシーのある患者、低カ リウム血症の患者 [低カリウム血症、高血圧症等を悪化 させるおそれがある。]

【組成・性状】

本剤は1管(20mL)中に次の成分を含有する。

有効成分	グリチルリチン酸一アンモニウム (グリチルリチン酸として) 日局 グリシン 日局 L-システイン塩酸塩水和物 (L-システイン塩酸塩として)	52mg (40mg) 400mg 22.3mg (20mg)	
添加物	日局 乾燥亜硫酸ナトリウム モノエタノールアミン	20mg 12mg	
性 状	無色澄明な水性注射剤		
pН	6.0~7.4		
浸透圧比	1.0~1.2(生理食塩液に対する比)		

【効能・効果】

- (1) 小児ストロフルス、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、皮膚瘙痒症、 口内炎、フリクテン、薬疹・中毒疹
- (2)慢性肝疾患における肝機能異常の改善

【用法・用量】

通常、成人には1日1回5~20mLを静脈内に注射する。なお、 年齢、症状により適宜増減する。

慢性肝疾患に対しては1日1回40~60mLを静脈内に注射または 点滴静注する。年齢、症状により適宜増減する。なお、増量す る場合は1日100mLを限度とする。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

高齢者 [低カリウム血症等の発現率が高い(「高齢者への投与」 の項参照)。]

2. 重要な基本的注意

- (1)ショック等の発現を予測するため、十分な問診を行うこと。
- (2)ショック発現時に救急処置のとれる準備をしておくこと。
- (3) 投与後、患者を安静な状態に保たせ、十分な観察を行うこと。
- (4) 甘草を含有する製剤との併用は、本剤に含まれるグリチル リチン酸が重複し、偽アルドステロン症があらわれやすく なるので注意すること。

3.相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ループ利尿剤	低カリウム血症(脱力	これらの利尿作用が、
エタクリン酸、	感、筋力低下等)があ	本剤に含まれるグリチ
フロセミド等	らわれるおそれがある	ルリチン酸のカリウム
チアジド系およびそ	ので、観察(血清カリ	排泄作用を増強し、血
の類似降圧利尿剤	ウム値の測定等)を行	清カリウム値の低下が
トリクロルメチア	うなど十分に注意する	あらわれやすくなる。
ジド、クロルタリ	こと。	
ドン等		

エナンコロナルンン	2 会处场拉 / 71	上如18十十7 上11 上 1
モキンプロキザング	心室性頻拍(Torsades	本剤が有するカリウム
塩酸塩	de pointesを含む)、	排泄作用により血清
	QT延長を起こすおそ	カリウム濃度が低下す
	れがある。	ると、モキシフロキサ
		シン塩酸塩による心室
		性頻拍(Torsades de
		pointesを含む)、QT延
		長が発現するおそれ
		がある。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を 実施していない。

(1)重大な副作用

- 1)ショック、アナフィラキシーショック(頻度不明):ショック、アナフィラキシーショック(血圧低下、意識消失、呼吸困難、心肺停止、潮紅、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2)アナフィラキシー様症状(頻度不明):アナフィラキシー様症状(呼吸困難、潮紅、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 3)偽アルドステロン症(頻度不明):増量または長期連用により高度の低カリウム血症、低カリウム血症の発現頻度の上昇、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれるおそれがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止すること。

また、低カリウム血症の結果として、脱力感、筋力低下 などがあらわれるおそれがある。

(2)その他の副作用

下記のような症状があらわれることがあり、投与量の増加により血清カリウム値の低下、血圧上昇の発現頻度の上昇傾向が見られる。

		_	頻度不明
過	敏	症	発疹、蕁麻疹、瘙痒
体液	・電角	解質	血清カリウム値の低下、浮腫
循	環	器	血圧上昇
消	化	器	嘔気・嘔吐、上腹部不快感
呼	吸	器	咳嗽
	眼		一過性の視覚異常(目のかすみ、目のチカチカ等)
そ	の	他	全身倦怠感、筋肉痛、異常感覚(しびれ感、ピリピリ感等)、気分不良、頭痛、熱感、発熱、過呼吸症状(肩の熱感、四肢冷感、冷汗、口渇、動悸)、尿糖陽性

5. 高齢者への投与

臨床での使用経験において、高齢者に低カリウム血症等の副 作用の発現率が高い傾向が認められるので、患者の状態を観 察しながら慎重に投与すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦等への投与に関する安全性は確立していないので、これ らの患者には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される 場合にのみ投与すること。[グリチルリチン酸一アンモニウ ムを大量投与した時の動物実験(ラット)において腎奇形等が 認められている。]

7. 適用上の注意

注射速度:静脈内投与は、患者の状態を観察しながらできる だけ投与速度を緩徐にすること。

8. その他の注意

グリチルリチン酸または甘草を含有する製剤の経口投与によ り、横紋筋融解症があらわれたとの報告がある。

【薬効薬理】

配合有効成分の薬理作用

・グリチルリチン酸ーアンモニウム¹⁾ グリチルリチン酸は甘草の主成分で、抗アレルギー作用、 解毒作用等を示す。

・グリシンジ

解毒作用を示し、クレアチン、グルタチオン、ポルフィリ ン等の生理的に重要な物質の生合成に関与する。

・L-システイン塩酸塩水和物®

生体内でSH供与体として働き、SH酵素の賦活剤としての 作用を示す。その結果として皮膚代謝の正常化、抗アレル ギー、解毒などの作用を示す。

【有効成分に関する理化学的知見】

1. グリチルリチン酸―アンモニウム

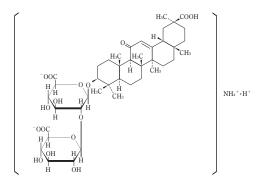
-<mark>般名:</mark>グリチルリチン酸ーアンモニウム (Monoammonium Glycyrrhizinate)

化学名: Monoammonium of 20 β-carboxy-11-oxo-30-

norolean-12-en-3 β -yl-2-O- β -Dglucopyranuronosyl-\beta-D-

glucopyranosiduronic acid

分子式: C42H65NO16 分子量:839.96 構造式:



性 状:白色の微細な結晶又は結晶性の粉末で、においはな く、特異な甘味がある。

2. グリシン

一般名:グリシン(Glycine) 化学名: Aminoacetic acid 分子式: C2H5NO2

分子量: 75.07 構造式:

 H_2N CO₂H

性 状:白色の結晶又は結晶性の粉末で、味は甘い。

水又はギ酸に溶けやすく、エタノール(95)にほとん

ど溶けない。

結晶多形が認められる。

3. L-システイン塩酸塩水和物

一般名:L-システイン塩酸塩水和物

(L-Cysteine Hydrochloride Hydrate)

化学名: (2R)-2-Amino-3-sulfanylpropanoic acid

monohydrochloride monohydrate

分子式: C3H7NO2S・HCI・H2O

分子量:175.63 構造式:

性 状:白色の結晶又は結晶性の粉末で、特異なにおい及び 強い酸味がある。

本品は水に極めて溶けやすく、エタノール(99.5)に

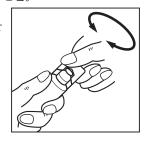
やや溶けやすい。

本品は6 mol/L塩酸試液に溶ける。

【取扱い上の注意】

1.注意

- (1) 内袋は使用直前まで開封しないこと。開封後は、速やか に使用すること。
- 内容液の漏出が認められるものや着色、混濁又は結晶が 認められるものは使用しないこと。
- アンプルカット: (3)頭部を手ですばやく回転させ て完全に切り離す。



2. 安定性試験4)

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、6ヶ月)の結果、キョ ウミノチン静注PLは、通常の市場流通下において3年間安 定であることが推測された。

【包装】

※【主要文献】

- 1)日本薬局方解説書
- 2)日本薬局方解説書
- 3)日本薬局方解説書
- 4) 原沢製薬工業株式会社 社内資料:安定性試験

※※【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。 原沢製薬工業株式会社 開発本部

〒108-0074 東京都港区高輪三丁目19番17号

TEL 03-3441-5191 FAX 03-5475-5485

発売



岩城製薬株式会社 東京都中央区日本橋本町4丁目8番2号

製造販売元(輸入元)



原沢製薬工業株式会社 HARASAWA 東京都港区高輪三丁目19番17号